

やまぐち就職氷河期世代活躍支援  
プラットフォーム第9回会合

令和7年1月30日（木）

オンライン開催

山口労働局

山 口 県

## 会議次第

### 1 開会あいさつ

### 2 議題

【議題1】 「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラン」KPI進捗状況について

【議題2】 令和6年度「就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援」事業の実施状況について

【議題3】 令和5年度及び6年度山口県における「地域就職氷河期世代支援加速化交付金」を活用した事業の実施状況について

【議題4】 令和7年度山口県における「社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金（仮称）」を活用した事業の計画について

【議題5】 令和7年度以降の就職氷河期世代の支援について

### 3 意見交換

### 4 閉会あいさつ

やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム第9回会合出席者名簿

【構成員】

区分	所属	役職	氏名	備考
経済団体	山口県経営者協会	専務理事	宮本 道浩	
	山口経済同友会	欠席		
	山口県商工会議所連合会	常務理事	中川 章	
	山口県商工会連合会	人事課主任	新田 一太	代理出席
	山口県中小企業団体中央会	事務局長	浦川 稔	代理出席
労働団体	日本労働組合総連合会 山口県連合会	事務局長	中元 直樹	
支援機関	独立行政法人高齢・障害・求職者 雇用支援機構山口支部	欠席		
	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会	欠席		
市町	山口県市長会 山口県市町総合事務局	事務局長	本多 昭洋	
	山口県町村会 山口県市町総合事務局	事務局長	本多 昭洋	
行政	経済産業省中国経済産業局 地域経済部産業人材政策課	参事官 (産業人材政策担当)	安部 努	

※「行政」は事務局を除く。

【オブザーバー】

学校法人YIC学院 社会事業本部	事業企画推進室長	田中 亜紀	
	事業企画推進室	藤本 幸恵	

【事務局】

山口 労働局	職業安定部訓練課	課長	永岡 英憲	
		課長補佐	古川 潤	
		就職支援 コーディネーター	西村 廣明	
山口県	産業労働部労働政策課	課長	福富 賢一	
		主任	大田 奨	
	健康福祉部厚政課	主事	中原 菜美子	
	健康福祉部健康増進課	主事	三好 慶輔	

## やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム設置要領

### 1 趣旨

「就職氷河期世代支援に関する新行動計画 2023」（令和4年12月27日就職氷河期世代支援の推進に関する関係府省庁会議決定。）における基本的考え方等を踏まえ、山口県内の関係機関や団体を構成員とし、県内の就職氷河期世代の支援に社会全体で取り組む気運を醸成するとともに、活躍支援策のとりまとめ、進捗管理等を統括する「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」（以下「やまぐちPF」という。）を、令和4年度までの「第一ステージ」に続き、令和5年度からの「第二ステージ」においても設置する。

### 2 構成員

やまぐちPFの構成員については、行政機関、経済団体、労働団体等の別紙1の機関を構成員とする。

また、必要に応じて、就職氷河期世代の方の支援に取り組んでいる企業や団体等を、オブザーバーとして、参加させることができる。

### 3 各構成員の役割

上記2の構成員の役割は、下記のとおりとする。

#### （1）行政側

##### ① 山口労働局（訓練課）

- ・やまぐちPFとりまとめ事務局（主担当）
- ・事業実施計画の策定とりまとめ、事業の進捗管理（主担当）
- ・管内市町のプラットフォーム（以下「市町PF」という）との連絡調整
- ・各種支援策の周知広報

##### ② 山口県（産業労働部労働政策課）

- ・やまぐちPFとりまとめ事務局（副担当）
- ・事業実施計画の策定とりまとめ、事業の進捗管理（副担当）
- ・市町PFとの連絡調整
- ・各種支援策の周知広報

##### ③ 山口県（健康福祉部健康増進課）

- ・市町PFとの連絡調整

- ・ 社会参加に向けた支援を必要とする者のニーズの把握
- ・ 市町ＰＦと連携しての先進的な取組に係る事例の把握と展開
- ・ 各種支援策の周知広報
- ④ 就労支援機関（ハローワーク、山口しごとセンター）
  - ・ 専門窓口・専門チームによる就職支援
  - ・ 企業説明会・面接会の開催や職場実習・体験機会の確保
  - ・ 企業に対する処遇改善の働きかけ、専門求人の確保
  - ・ 各種支援策の周知広報
  - ・ やまぐちＰＦとりまとめ事務局への政策提案
- ⑤ 中国経済産業局
  - ・ やまぐちＰＦとりまとめ事務局への政策提案
  - ・ 各種支援策の周知広報
- ⑥ 山口県市長会、山口県町村会
  - ・ 各種支援策の周知広報
- (2) 経済団体、労働団体等
  - ・ 企業に対する、就職氷河期世代を対象とした求人募集、積極的な採用、企業説明会・面接会への参画や職場実習・体験機会の確保の働きかけ
  - ・ 企業に対する人材育成の充実や正規雇用化を含む処遇改善の働きかけ
  - ・ 就職氷河期世代の就労や社会参加に向けた相談支援
  - ・ イベントや会報等での各種支援策等の周知広報
  - ・ やまぐちＰＦとりまとめ事務局への政策提案
- (3) 支援機関（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構山口支部、山口県社会福祉協議会）
  - ・ 公的職業訓練（ハロートレーニング）の充実
  - ・ 社会参加に向けた支援を必要とする者への支援の充実
  - ・ 各種支援策の周知広報
  - ・ やまぐちＰＦとりまとめ事務局への政策提案

#### 4 やまぐちＰＦにおける取組事項

やまぐちＰＦにおいては、次に掲げる事項について協議を行い、各構成員における取組を促進することとする。

- (1) 気運醸成と各種支援策の周知広報

就職氷河期世代の支援に社会全体で取り組む気運を醸成し、各界が一体となって、積極的な採用、正規雇用化を含む処遇改善や社会参加への支援に結びつくような環境整備を図る。

また、就職氷河期世代本人やそのご家族等に対し、各構成員が有する様々なルートを通じて各種支援策の周知広報を図る。

## (2) 支援対象者の把握

地域ごとに支援の対象となる以下の3種類の者に係る支援ニーズを把握する。

- ① 不安定な就労状態にある者
- ② 長期にわたり無業の状態にある者
- ③ 社会参加に向けた支援を必要とする者(ひきこもりの方や生活困窮の方など)

## (3) 目標、KPI(重要業績評価指数)の設定及び事業実施計画の策定

- ① 山口県におけるKPIについては、適切なものを検討の上設定する。
- ② KPIを達成するために、事業実施計画を策定する。
- ③ 計画に基づく実施事業の進捗管理を行う。

## (4) 市町との連携

市町PFの事務局と連絡調整を図り、以下の事項に係る市町PFとの情報共有と広域的課題の対応を行う。

- ・福祉から受け入れ先の開拓、雇用にあたって必要な配慮等、県レベル経済団体への対応依頼
- ・経済団体、他の市町村等とのつながり作りの支援
- ・市町PFの好事例の周知等

## 5 会議の開催

上記4に掲げる事項の協議を行うために、年2回を目安に会議を開催することとするが、この他必要に応じて開催することもできるものとする。

## 6 秘密の保持

PFの構成員及び協議の場に参加した者は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

## (附則)

この要領は、令和2年8月28日から施行する。

令和3年5月20日 一部改正

令和4年2月16日 一部改正

令和5年2月14日 一部改正

令和5年8月29日 一部改正

## やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム構成員

区分	構成員 (機関・団体名)
経済団体	山口県経営者協会
	山口経済同友会
	山口県商工会議所連合会
	山口県商工会連合会
	山口県中小企業団体中央会
労働団体	日本労働組合総連合会 山口県連合会
支援機関	独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 山口支部
	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
市 町	山口県市長会
	山口県町村会
行 政	経済産業省 中国経済産業局 地域経済部 産業人材政策課
	山口労働局
	山口県産業労働部
	山口県健康福祉部



# やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラン

令和2年8月

令和5年2月改訂

令和5年8月改訂

やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム



## 目次

1. 趣旨	1
2. やまぐち支援プランの計画期間及び進捗管理	2
3. 支援対象者	2
4. 山口県の現状と支援の方向性	3
5. 目標、KPI及び取組	4
(1)不安定な就労状態にある方	4
(2)長期にわたり無業の状態にある方	6
(3)社会参加に向けた支援を必要とする方	8
(4)全支援対象者共通の取組	10
6. やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームと 市町プラットフォームとの連携	10
7. 地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業の実施	10



## 1. 趣旨

バブル崩壊後の雇用環境が厳しい時期(概ね 1993 年(平成5年)~2004 年(平成 16 年)に就職活動を行った、いわゆる「就職氷河期世代」は、現在、30 代半ばから 40 代後半(令和2年4月1日現在、大卒で概ね 38 歳~49 歳、高卒で概ね 34 歳~45 歳)に至っている。その中には、希望する就職ができず、新卒一括採用をはじめとした流動性に乏しい雇用慣行が続いてきたこともあり、現在も、不本意ながら不安定な仕事に就いている、無業の状態にある、社会参加に向けて支援を必要とする状態にあるなど、様々な課題に直面している方がいる。また、こうした課題に直面している方々の多くは、概して能力開発機会が少なく、企業に評価される職務経歴も積めていない、就職活動の度重なる失敗により自分に自信が持てない、現状維持が精一杯で今後の展望を抱けない、正社員を諦めているなど、就職活動に当たって様々な課題を抱えている。

こうした状況を踏まえ、就職氷河期世代への支援は喫緊の課題であることから、政府は、「経済財政運営と改革の基本方針 2019」(令和元年6月 21 日閣議決定)において就職氷河期世代の活躍促進に向けて3年間の集中的な支援に取り組む方針が打ち出された。さらに「経済財政運営と改革の基本方針 2022」(令和4年6月7日閣議決定)において、令和4年度までの3年間の集中取組期間を「第一ステージ」と捉え、令和5年からの2年間を「第二ステージ」と位置づけ、これまでの施策の効果も検証の上、効果的・効率的な支援を実施し、成果を積み上げる旨の方針が定められた。

この方針に向けた施策の具体化を図るため、「就職氷河期世代支援に関する新行動計画 2023」(令和4年 12 月 27 日付け就職氷河期世代支援の推進に関する関係府省会議決定。以下「行動計画」という。)が策定されているところである。

山口県においては、行動計画に基づき、県内の関係機関(経済団体、労働団体、支援機関、市町、行政)を構成員とし、県内の就職氷河期世代の活躍支援策をとりまとめ、進捗管理等を統括する「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」(以下「やまぐちPF」という。)を令和4年度までの「第一ステージ」に続き、令和5年度からの「第二ステージ」においても設置する。

また、やまぐちPFにおいて「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラン」(以下「やまぐち支援プラン」という。)を策定し、就職氷河期世代の方々が活躍の場を更に広げるために、県内の社会気運を醸成し、好事例の横展開を図りつつ、各界が一体となって、やまぐち支援プランに基づく各取組を継続的に推進していくこととする。

## 2. やまぐち支援プランの計画期間及び進捗管理

やまぐち支援プランの計画期間は、令和2年8月28日～令和7年3月31日までとする。

やまぐち支援プランの着実かつ効果的な推進を図るため、個々の取組や進捗状況をやまぐち PF 事務局にて把握するとともに、取組の進捗を踏まえた今後の施策展開の方向性等を協議するため、毎年度やまぐち PF 設置要領の5に規定する会議を開催し、内容を公表する。なお、その進捗状況等を踏まえ、必要に応じて計画内容を見直すこともあり得る。

## 3. 支援対象者

やまぐち支援プランにおいては、次の①～③に掲げる方々を支援対象者とする。支援に当たっては、就労を希望される方には正社員化及び正社員就職の実現を目指すものであるが、個々人の希望や意欲・能力に応じた雇用形態や待遇の実現及び社会参加へ向けた支援が図られることや、①～③の類型にかかわらず各支援機関が連携して取り組むことが重要である点に留意する必要がある。

### ①不安定な就労状態にある方

- ・正規雇用を希望しながら非正規雇用で働いている方
- ・前職が非正規雇用で、正規雇用を希望する失業中の方など

### ②長年にわたり無業の状態にある方

- ・無業で家事も通学もしていない方のうち、就職などに向けた取組への意欲が認められる方など

### ③社会参加に向けた支援を必要とする方(ひきこもりの方や生活困窮の方など)

- ・ひきこもりの状態にある方、生活困窮に陥っている方など、就労支援だけでなく、保健医療や福祉的な支援を必要としている方

#### 4. 山口県の現状と支援の方向性

総務省の「就業構造基本統計調査(2017年)」を基にした推計<sup>1</sup>によると、山口県内における支援対象者の現状については、①不安定な就労状態にある方 3,700人、②長期にわたり無業の状態にある方 3,399人と推計している。③社会参加に向けた支援を必要とする方については、支援対象者個人ごとに抱える事情や状態が異なり、必ずしもただちに就労に向かうことが本人にとって望ましいとは限らず、就労支援の対象として数量的にとらえることにそもそもなじまないことから推計対象としていないが、今後、やまぐち支援プランの期間内で支援対象者のニーズを明らかにしていくこととする。

これらの方々の当面の目標は、働くことや社会参加など多様であり、また生活の基盤を置く地域の実情も多様であることから、個々人の状況に応じた支援メニューを積極的に届けていかなければならない。そのためには、当事者やその家族の置かれている状況やニーズをしっかりと受け止めるという姿勢を社会全体に浸透させるよう取り組んでいくことが不可欠である。

支援対象者である「不安定な就労状態にある方」、「長期にわたり無業の状態にある方」、「社会参加に向けた支援を必要とする方(ひきこもりの方や生活困窮の方など)」は明確に区分できない場合も想定され、その状態も時とともに変化していくものであることから、当事者とその家族を中心とした柔軟な支援を行うためには、関係機関が連携して、多様で複合的な課題やニーズに対応する必要がある。

これらを踏まえ、就労や処遇の改善、社会参加を促す中で、必要な人に必要な支援が届く体制を構築することなどに、やまぐちPFのみならず、他の関係機関とも連携して取り組んでいくこととする。

---

<sup>1</sup> 資料出所：総務省「就業構造基本統計調査(2017年)」

JILPT「若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状③」

・「不安定な就労状態にある方」：現在非正規雇用で働いており「現職の雇用形態についている理由」について「主に正規の職員・従業員の仕事がないから」と答えた者

・「長期にわたり無業の状態にある方」：無業者のうち求職活動をしていない者で、卒業者かつ通学していず、配偶者なしで家事を行っていない者。就業構造基本統計調査の公表値ではないため、JILPTが特別集計したデータを利用している。

## 5. 目標、KPI<sup>2</sup>及び取組

### (1) 不安定な就労状態にある方

#### 【目標】

正規雇用を希望していながら不安定な就労状態にある方について現状よりも良い処遇を目指すため、支援対象者の正規雇用者数を 2,040 人<sup>3</sup>(第一ステージ)、4,000 人(第二ステージまでの累計)増やすことを目標とする。

#### 【KPI】

項目	KPI
ハローワーク紹介による正社員就職件数	3,745 件
キャリアアップ助成金活用による正社員転換数	1,376 人
山口しごとセンター利用者における就職決定数	808 人

#### 【取組】

##### (相談体制の充実)

ハローワーク宇部に「キャリアアップ応援コーナー(就職氷河期世代専門窓口)」を設置し、専門担当者で構成するチームによる個別支援によるマッチングの促進及び職場定着を図る。

##### 【山口労働局】

専用窓口を設置しないハローワーク相談窓口にて、相談者が就職氷河期世代対象者であるか判断を行い、対象者に関しては助成金をはじめとする積極的な支援に対応できる体制を組み、多様なニーズにあわせた就職支援を行う。

##### 【山口労働局】

国と県の業務を一体的に実施する「山口しごとセンター」において、専任のキャリアカウンセラーによるキャリアカウンセリングから就職支援サイト等による情報提供、職業紹介、就職後のフォローアップまでのサービスをワンストップで提供する。

##### 【山口労働局、山口県】

<sup>2</sup> KPI： 重要業績評価指標 (Key Performance Indicator) の略。目標の進捗を把握するための指標。

<sup>3</sup> 2,040 人： 総務省「就業構造基本統計調査 (2017 年)」等より  
「不安定な就労状態にある方」山口県 3,700 人 / 全国 541,700 人  $\times 100 \div 0.68\%$   
30 万人 (国の目標)  $\times 0.68\% = 2,040$  人 (山口県の 3 年間の目標)



(職業訓練の実施・強化、スキルアップ支援)

離職者、求職者、在職者それぞれのニーズに対応し、安定就労に有効な職業能力等の習得を目指す公的職業訓練(ハロートレーニング)の実施等によるスキルアップや新たなキャリアへの挑戦を支援する。

なお、訓練コース等の設定に当たっては、正社員就職のために資する内容とするよう配慮する。

【山口労働局、山口県、独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構】

(就職、正社員への転換支援)

支援対象者に対するマッチングイベント(企業の説明会、就職面接会、職場体験、職場見学、セミナー等)を開催(後援・共催を含む)する。

【山口労働局、山口県、中国経済産業局】

特定求職者雇用開発助成金(就職氷河期世代安定雇用実現コース)、キャリアアップ助成金等の企業支援策周知に努め、その活用による就職氷河期世代の正社員就職及び正社員転換を促進する。

【山口労働局】

就職氷河期世代を対象とした求人募集、正社員化を含む処遇改善、職場定着支援など受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)、マッチングイベント等への取組について、業界団体や企業等へ要請する。

【山口労働局、山口県】

企業における就職氷河期世代を対象とした求人募集、正社員化を含む処遇改善、職場定着支援など受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等への取組を促進する。また、取組に必要な施策の提案を行う。

【山口県経営者協会、山口経済同友会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会】

就職氷河期世代を対象とした正社員化を含む処遇改善等に係る働きかけを行う。

【日本労働組合総連合会山口県連合会】

(2) 長期にわたり無業の状態にある方

【目標】

就業を希望しながら、様々な事情により求職活動をしていない長期無業の状態にある方については、働くことや社会参加を促す中で本人に合った形で支援を行う必要があることから、地域若者サポートステーション(以下「サポステ」という。)を中心とし関係機関と連携した職業的自立支援につなげることを目標とする。

【KPI】

項目	KPI
サポステにより実施した相談件数(福祉機関等への出張相談や関係機関からの依頼を受けての相談を含む)	8,275 件
サポステの支援により就職等 <sup>4</sup> につながった件数	607 件

【取組】

(相談体制の充実)

サポステの支援対象年齢を 39 歳までから 49 歳までに拡大するなど相談体制を整備する。

また、福祉関係機関等への出張相談において支援対象者を把握するとともに、支援対象者個々人の状況に対応したきめ細かな職業的自立支援につなげる。

【山口労働局、山口県】

(就労に向けた支援)

支援対象者に対するカウンセリングや職場体験、各種セミナーの開催等により、職業意識やコミュニケーション能力の向上を図る。

【山口労働局、山口県】

長期にわたり無業の状態にある方に係る就職等支援など、受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等への取組について、業界団体や企業等へ要請を行う。

【山口労働局、山口県】

---

<sup>4</sup> 就職等： 「雇用保険被保険者資格を取得し得る就職」、「雇用保険被保険者資格が取得できない就職だが、資格を取得し得る就職に向けてサポステの支援が継続される就職」及び「公的職業訓練の受講」を指す。

長期にわたり無業の状態にある方に係る就職等支援など、企業における受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等の取組を推進する。また、それらの取組に必要な施策をやまぐち PF に提案する。

【山口県経営者協会、山口経済同友会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会】

働き方改革やワーク・ライフ・バランスの普及啓発等を通じ、多様な働き方の推進を図る。

【山口労働局、山口県】

(3) 社会参加に向けた支援を必要とする方(ひきこもりの方や生活困窮の方など)

【目標】

当事者やその家族の希望に応じ、市町における居場所の整備、その他対象者の状態に合わせた支援を行うための多様な取組を推進し、社会とのより太いつながりが生まれることを目標とする。

【KPI】

項目	KPI
就労準備支援事業実施福祉事務所	15 福祉事務所
ひきこもりの方等の相談窓口の明確化・周知	19 市町

【取組】

(ニーズの把握)

相談内容の分析などにより、社会参加に向けた支援を必要とする方のニーズを把握する。

【山口県、山口県社会福祉協議会】

(相談支援体制の充実)

社会参加に向けた支援を必要とする方やその家族が、お住まいの地域で容易に相談できる環境を整備するために、市町での相談窓口を明確化した上で、広報等により住民への周知を図る。

【山口県、山口県社会福祉協議会】

ひきこもり地域支援センターが、市町の窓口や関係機関に対する専門的なアドバイスをを行うとともに、ひきこもり状態にある方やその家族への取組を支援する。

【山口県】

各市町福祉事務所が実施する生活困窮者就労準備支援事業の取組に関する助言、情報提供を行う。

【山口県】

(相談支援に係る人材の育成、資質向上)

自立相談支援機関の相談支援員の資質向上のための養成研修やひきこもり地域支援センターによる支援者向けの研修会などにより、支援に係る人材の育成、資質の向上を図る。

【山口県、山口県社会福祉協議会】

(職場体験・見学、就労に向けた支援)

社会参加に向けた支援を必要とする方に係る職場体験や職場実習等の機会確保及び受入れ後の職場定着支援などの受入体制整備について、業界団体や企業等へ要請を行う。

【山口労働局、山口県】

社会参加に向けた支援を必要とする方に係る職場体験や職場実習等の機会確保及び受入れ後の職場定着支援などの受入体制整備に係る取組を推進する。また、それらの取組に必要な施策をやまぐち PF に提案する。

【山口県経営者協会、山口経済同友会、山口県商工会議所連合会、山口県商工会連合会、山口県中小企業団体中央会】

社会参加に向けた支援を必要とする方に係る受入体制整備(職場体験・実習等の機会確保を含む)等への取組について働きかけを行う。

【日本労働組合総連合会山口県連合会】

#### (4)全支援対象者共通の取組

##### 【取組】

市町レベルのプラットフォーム(以下「市町 PF」という。)を形成し、支援に係る関係者間の情報共有を行う。また、市町 PF の活動活性化のため、好事例の横展開などの積極的な協力を行う。

【山口労働局、山口県】

やまぐち PF の取組や活動等について、市町や各団体の構成企業・団体等に積極的に周知・啓発を行うことにより、社会全体で就職氷河期世代の活躍を支援する気運の醸成を図る。

【全構成員】

支援対象者一人ひとりに各種施策や社会全体で支援するというメッセージを積極的に届けるため、あらゆる手段(メディア、SNS、WEB、イベント開催等)を活用し、家族、関係者も含め効果的に伝わる周知・広報策を展開する。

【全構成員】

#### 6. やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォームと市町プラットフォームとの連携

やまぐちPFは、市町PFの効果的かつ円滑な運営のために、市町PFからの支援要請に対して適切に対応するとともに、好事例等の就職氷河期世代支援に関する情報についてはこれを共有し、双方緊密な連携を図ることとする。

#### 7. 地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業の実施【別表】

【別表】

山口県における地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧

実施主体	事業名
山口県	山口しごとセンター管理運営費
山口県	地域若者サポートステーション機能強化事業
山口県	雇用のセーフティネット強化事業
山口県	女性デジタル人材育成事業
山口県	県外キャリア人材確保応援事業

【参考】

市町における地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業一覧

実施主体	事業名
宇部市	就職氷河期世代キャリアアップ支援事業

# 説明資料



## やまぐち就職氷河期世代活躍支援プランKPI進捗管理表

令和6年10月末現在

① 不安定な就労状態にある方	目標	KPI						
	項目	5年間KPI	5年間KPI 達成率	実績				
				2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
正規雇用者数を4,000人増								
	●ハローワーク紹介による正社員就職件数	3,745 件	131.7%	892 件	1065 件	1040 件	1297 件	637 件
	●キャリアアップ助成金活用による正社員転換数	1376 人	103.7%	320 人	305 人	391 人	237 人	174 人
	●山口しごとセンター利用者における就職決定数	808 人	74.4%	161 人	134 人	122 人	130 人	54 人

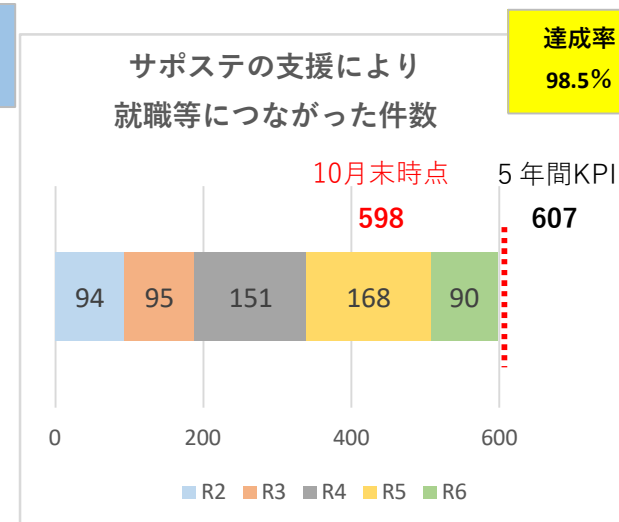
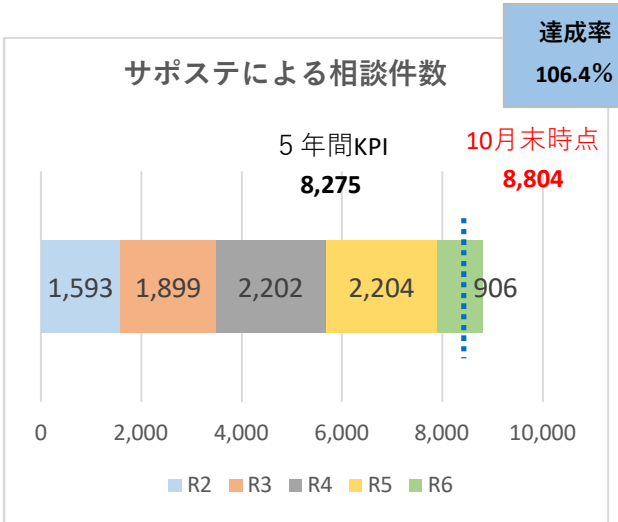
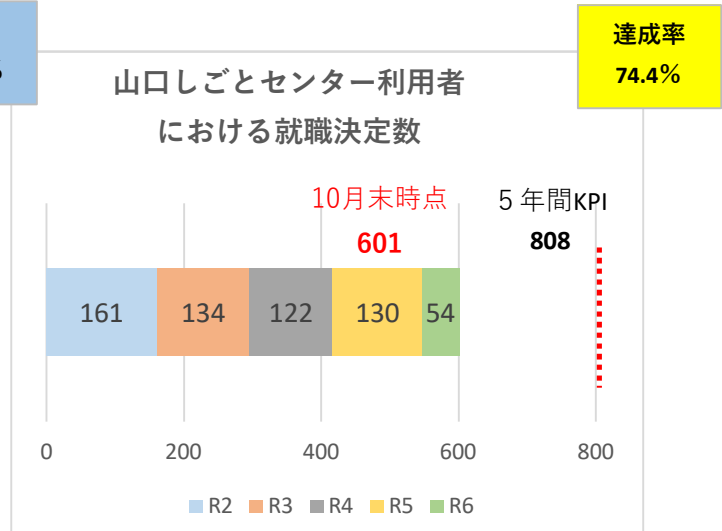
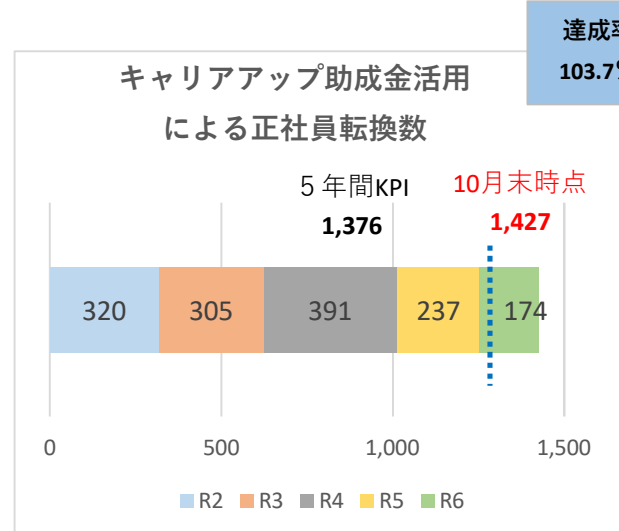
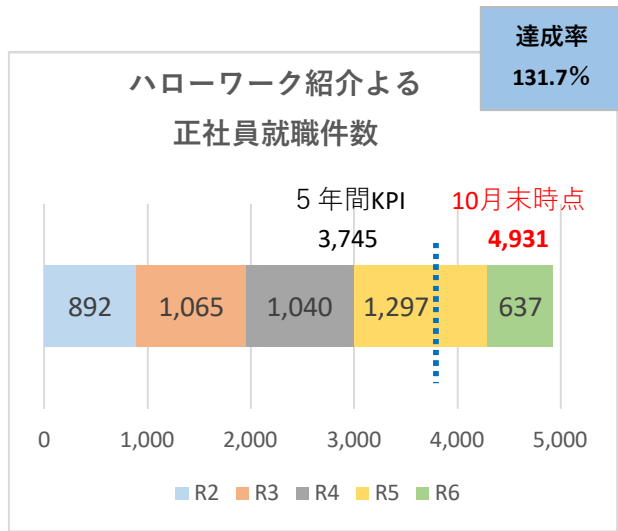
※山口しごとセンター利用者における就職決定数は正規雇用者の数。

② 長期にわたり無業の状態にある方	目標	KPI						
	項目	5年間KPI	5年間KPI 達成率	実績				
				2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
地域若者サポートステーションを中心に関係機関と連携した職業的自立支援につなげる								
	●サポステによる相談件数	8,275 件	106.4%	1,593 件	1,899 件	2,202 件	2,204 件	906 件
	●サポステの支援により就職等につながった件数	607 件	98.5%	94 件	95 件	151 件	168 件	90 件
	●サポステと地域の関係機関との連携体制の強化	19 市町	100.0%	8 市町	11 市町	市町	目標達成の為、新たな設定は行わない	

③ 社会参加に向けた支援を必要とする方 (ひきこもりの方や生活困窮の方など)	目標	KPI						
	項目	5年間KPI	5年間KPI 達成率	実績				
				2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
市町に居場所の整備、対象者の状態に合わせた支援を行うための多様な取組を推進し、社会とのより太いつながりをつくる								
	●就労準備支援事業実施福祉事務所	15 箇所	100.0%	7 箇所	1 箇所	2 箇所	5 箇所	箇所
	●ひきこもりの方等の相談窓口の整備	19 市町	100.0%	11 市町	2 市町	6 市町	目標達成の為、新たな設定は行わない	
	●ひきこもりの方等の相談窓口の明確化・周知	19 市町	73.7%	市町	市町	市町	14 市町	市町

④ 全支援対象者共通	目標	KPI					
	項目	3年間KPI	3年間KPI 達成率	実績			
				2020年度	2021年度	2022年度	
就職氷河期世代の活躍を支援する気運の醸成を図る							
	●県内全市町での市町PFの設置	19 市町	100.0%	9 市町	10 市町	市町	目標達成の為、新たな設定は行わない

# やまぐち就職氷河期世代活躍支援プランKPI進捗状況 令和6年10月現在



サポステと地域の関係機関との連携強化

19/19 (市町) **R 3 達成**

就労準備支援事業実施福祉事務所

15/15 (箇所) **R 5 達成**

引きこもりの方等の相談窓口整備

14/19 (市町) **73.7%**

引きこもりの方等の相談窓口の明確化・周知

19/19 (市町) **R 5 達成**

県内全市町での市町P Fの設置

19/19 (市町) **R 3 達成**

## 1 就職氷河期世代向けセミナー及び企業説明会・個別相談会の開催

県内 8 か所で、セミナー、企業説明会・個別相談会を同日開催

開催地	開催日	参加企業数	セミナー 企業説明会 参加者数	個別相談 参加者数 (のべ数) ※1
萩	8/28	3	8	7
下松	9/27	2	3	2
岩国	9/30	3	9	2
山口	10/23	3	12	4
下関	11/26	2	6	2
徳山	12/9	2	3	5
柳井	12/11	2	14	8
防府	1/22	3	14	12
計		20	69	32

※1 個別相談参加者数は、企業個別相談ブースとハローワーク・サポステ相談ブースの合計である。

※2 宇部所においては、専門窓口を設置しており、定期的に面接会を実施している。

▲ハローワーク下関会場のリーフレット

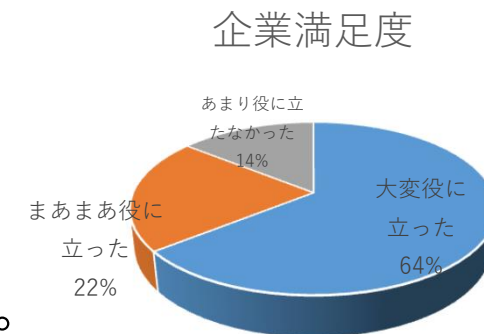
NEW

ハローワーク経由で、市町の広報誌にイベント情報の掲載を依頼。

# 1 就職氷河期世代向けセミナー及び企業説明会・個別相談会の開催

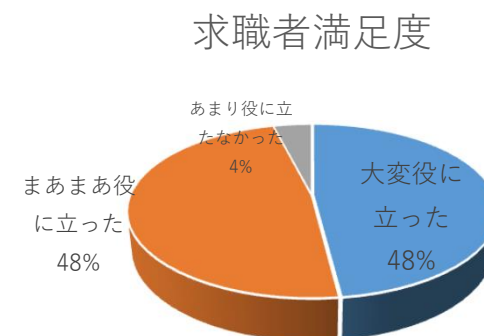
## 参加企業の声（アンケート結果から）

- ハローワークなどでの企業説明会にニーズが高い。
- 世代にこだわりなく、採用活動している企業が多い。
- 中高年になると、社会人としての経験を求める企業もある。



## 参加求職者の声（アンケート結果から）

- 自己分析セミナーで、自分を見つめ直すことができたという声が多かった。
- 体力低下や家族の介護等シニア世代に多い課題の解決に向けた支援ニーズがある。
- 就活マナー、資格取得、業界研究、自己分析、面接対策など、様々な支援のニーズがある。



# 1 就職氷河期世代向けセミナー及び企業説明会・個別相談会の開催

**自分を知るセミナー** → **自己分析セミナー**  
◎筆記用具をご準備ください。

講師：怒和 陽子 (キャリアコンサルタント)  
就職活動は自分の希望を叶えること！  
まずは仕事に求める条件や、また自身の強みや資源を整理してみませんか？ セミナーではワークシートを使用して、自己分析を行います。



**企業説明会・個別相談会 (要予約)** → **地元企業との出会いの場**

◎企業説明会 (※1社につき15分)  
◎個別相談会 (※1人あたり20分)

●昨年度は、就職セミナーと企業説明会を1部・2部と分けて実施していたが、今年度は分けずに実施したことで、企業の話聞いて知ってもらう機会を増やすことができた。

R 5

セミナー

企業説明会

個別相談会

セミナーのみ・企業説明会のみ参加を可能としていた。



R 6

セミナー + 企業説明会

個別相談会

セミナーと企業説明会を続けて実施。

●就職セミナーは、参加者がワークシートを用いて取り組む形式をとっており、書くことで現在の自分自身を整理できたようで好評であった。



## 2 インターネット広告やSNS広告等を利用し、ターゲットを絞った周知広報

●就職セミナー・企業説明会が始まる8月からLINE広告やGoogleディスプレイ広告を開始したことで、公式サイト閲覧数が増加している。

LINE広告やWEBサイトからイベントを知って参加された求職者もあった。

●地域情報誌（ほっぷ等）にイベント広告を掲載したことにより、家族から勧められて参加された求職者もあった。

●「ぽかぽか未来サイト」をより多くの方に見てもらうため、12月からGoogle広告デマンドジェネレーションでの告知を追加したところ、ディスプレイ広告より高いクリック数があった。

### 「ぽかぽか未来実現サイト」

就職氷河期世代活躍支援  
ぽかぽか未来実現サイト  
Heart warm up

各種相談窓口はこちらをクリック

このサイトは、H20年度からH22年度まで、  
学校法人アソシエイト（1518622000000000）が作成・運営管理しています。  
☎ 083-976-8355 受付時間：09:00～18:00

トップページ お知らせ 相談窓口 イベント案内 職場実音 就活関連動画集 HPに関するお問い合わせ

「不安な気持ち」  
私達と一緒に解決していきませんか？

正社員になりたい  
安定した仕事を見つけない  
自分にも出来るか不安

### 厚生労働省版「就職氷河期世代活躍支援」 特設ホームページ・ポータルサイト

スキルや経験がない  
今の働き方を  
変えたい  
人と関わるのが  
苦手  
安定した働き方を  
したい  
家族のことで  
相談したい  
就職について  
相談したい  
自立したいけど  
自信がない

不安や悩みに寄り添った支援と  
相談窓口を用意しています。

今のキャリアを見直したい  
ハロワーク  
全国に専門窓口設置

働くための準備がしたい  
サポステ  
働き出すあなたをバックアップ

ひきこもり等から踏み出したい  
各種支援機関  
様々なご事情に寄り添いサポート

支援欄について詳しく見る

一人ひとりの  
想いのそばに。

自分の「いま」を変えたい。あなたの想いを受け止め、  
不安や悩みに寄り添いながら、未来への道筋をいっしょに見つけます。

就職氷河期世代活躍支援

資料 3 - 1

令和 5 年度及び 6 年度山口県における「地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業」の実施状況

【ポイント】

(事業計画・実施状況)

- 2023 年度及び 2024 年度における実施状況について  
(2024 年度については令和 6 年 12 月末時点の状況)

山口しごとセンター管理運営費

- 就職氷河期世代カウンセラーの配置及び専用窓口の設置により、対象世代の方の来所・相談を促し、個々の状況に応じたきめ細かな支援を実施

1 相談件数

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
相談件数	569 件	548 件	497 件	533 件	<u>344 件</u>

2 就職決定者数

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
就職決定者数 (正規雇用のみ)	161 人	134 人	122 人	130 人	<u>69 人</u>

地域若者サポートステーション機能強化事業

- 地域若者サポートステーションと連携し、就職に向けて心理的な悩みを持つ無業者に対して、臨床心理士等の専門家によるきめ細かな相談支援を実施

1 相談件数

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
相談件数	2,140 件	2,567 件	2,841 件	3,184 件	<u>1,991 件</u>

## 2 就職決定者数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職決定者数 (非正規雇用を含む)	98人	90人	143人	164人	<u>119人</u>

### 雇用のセーフティネット強化事業

#### 1 「オンライン就労支援セミナー」の開催

長期無業者等を対象に職業意識やコミュニケーション能力の向上を図る就労支援セミナーを開催し、「県内就労」や「社会参加」の促進を図る。

##### ◆令和5年度

- ・対象者を、就職氷河期世代（概ね30代半ば～50代前半）の方及びそのご家族に拡大して実施
- ・全6回のセミナーに加え、学び直しができるようにオンデマンド配信も実施
- ・受講に必要な機器・通信環境等を有していない場合は、受講を可能とするための機器等（タブレット端末、Wi-Fiルーター等）の貸し出しを実施
- ・セミナー参加者（実人数33名）のうち、就職決定者（非正規雇用を含む）…10名

日時	セミナーの内容	参加者数
R5. 9. 8	自己分析1 ～うまくいかない時って、どんな時～	9名 (保護者：1名)
R5. 9. 14	自己分析2 ～自分の魅力を再発見してみよう～	12名 (保護者：1名)
R5. 9. 22	アサーションを学ぼう ～自己表現と自尊尊重を理解してみよう～	13名
R5. 10. 11	就職活動の進め方 ～自己分析で自分を見つめなおし、 自分の魅力を再発見してみませんか～	10名
R5. 10. 18	業界・職種を理解しよう ～自分にあった仕事探しのポイントを知ろう～	11名
R5. 10. 31	私らしく働こう ～私らしいワークスタイルとは！ そして一歩前へ～	12名



◆令和6年度

- ・セミナー受講者には、eラーニング講座、オンライン適性検査の受検を無償提供

日 時	セミナーの内容	参加者数
R6. 8. 28	自己理解・自己肯定感の向上について	9名
R6. 9. 13	コミュニケーションスキルの基礎について	9名
R6. 9. 26	就職活動の始め方	12名
R6. 10. 9	履歴書・職務経歴書の書き方	11名
R6. 10. 23	面接・自己PRの考え方	10名

2 個別相談支援の実施

- ・オンライン就労支援セミナーの参加者を支援対象者とし、個々のニーズに応じた伴走型のキャリア支援を定期的の実施
- ・相談方法については、支援対象者の希望する方法（対面、オンライン、SNS等）で実施

3 「氷河期世代の人材活用オンライン企業向けセミナー」の開催

「氷河期世代の活用方法」について学ぶ企業向けセミナーを開催することで、企業における就職氷河期世代の雇用を促進する

◆令和5年度

- ・全2回のセミナーに加え、学び直しができるようにオンデマンド配信も実施
- ・セミナー受講後のフォローアップとして、氷河期世代の求職者とのマッチングに向けた情報提供を実施

日 時	セミナーの内容	参加企業数
R5. 10. 20	採用難時代のリテンション戦略 ～採用難時代だからこそ、必要となるリテンション (採用と定着)マネジメントとは～	7社
R5. 11. 10	アマゾンのすごい人材マネジメント ～管理職の課題を解決する様々な仕組み～	8社

◆令和6年度

日 時	セミナーの内容	参加企業数
R6. 9. 11	○ミドル世代（就職氷河期世代）の活用ポイント ○ハローワーク求人票の効果的な活用方法	45社
R6. 11. 12		35社

## 女性デジタル人材育成事業

### 1. コンソーシアムの設置

- ・令和5年6月6日に設立イベントを行い、コンソーシアムの趣旨に賛同する企業等を募集
- ・令和6年12月末時点で61者参加

### 2. プログラマー養成講座の実施

- ・令和5年度：57名受講
- ・令和6年度：77名受講（令和6年9月～令和7年1月）

## 県外キャリア人材確保応援事業

### 1 企業向けオンラインセミナーの実施

企業の採用力と定着力の向上を図るため、転職者を採用する際の留意点、定着に有効なインターンシップの導入のメリットなどを内容としたセミナーを実施

[令和5年度]

◆実績 25社参加

日時	参加企業数
R5.8.17	10社
R5.9.19	10社
R6.1.12	5社

[令和6年度]

◆実績（予定含む） 21社参加

日時	参加企業数（予定含む）
R6.8.27	5社
R6.9.26	1社
R7.1.28	15社

### 2 転職フェアへの出展

転職希望者と県内企業の出会いの場として多数の集客が見込まれる民間の転職フェアに県内企業が出展することで人材確保につなげる。加えて「山口しごとセンター」や「やまぐち暮らし支援センター」とも連携し、県内企業の求人情報や移住支援の情報を幅広く来場者に提供している。

[令和5年度]

◆実績 20社参加 採用内定者数5名 訪問者数240名

日時	場所	業種	参加企業名 (採用内定者数) (訪問者数)
R5.9.23	東京	金融業 製造業 情報サービス業 建設業	(株)山口フィナンシャルグループ (0) (13) (株)エヌエフホールディングス (0) (9) (株)エイム (1) (13) (株)サニックス (0) (10)
R5.10.1	福岡	専門商社 社労士法人 求人広告業 自動車販売業 運輸・物流業	長府工産(株) (0) (14) あひる社会労務士法人 (1) (9) (株)Be win (0) (7) 山口日産自動車(株) (1) (14) トクヤマ海陸運送(株) (1) (15)
R5.10.7	広島	製造業 宿泊業 自動車販売業	中村被服(株) (1) (15) (株)大谷山荘 (0) (11) 山口日産自動車(株) (0) (15)
R5.10.28	大阪	情報サービス業 建設業 金融業 製造業	(株)コア (0) (12) 住吉工業(株) (0) (5) (株)山口フィナンシャルグループ (0) (13) (株)エヌエフホールディングス (0) (12)
R6.1.27	東京	情報サービス業 建設業 製造業 建設業	(株)コア (0) (10) 住吉工業(株) (0) (15) (株)ひびき精機 (0) (13) (株)サニックス (0) (15)

[令和6年度]

◆実績 (予定含む) 10社参加 採用内定者選考中 訪問者数94名

日時	場所	業種	参加企業名 (採用内定者数) (訪問者数)
R6.9.14	東京	環境エネルギー業 飲食サービス業 情報サービス業	(株)サニックス (0) (8) (株)資さん (0) (25) (株)コア (0) (22)
R6.10.27	福岡	卸売業 宿泊業 製造業 小売業	日野出(株) (0) (5) (株)大谷山荘 (0※選考中) (17) (株)ひびき精機 (0) (8) (株)グローバルセレクション (0) (9)
R7.2.8	広島	運送業 金融業 印刷業	トクヤマ海陸運送(株) (株)山口フィナンシャルグループ 大村印刷(株)



## 地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業

2020年度事業		
事業名（実施主体）	事業計画	実施結果
山口しごとセンター管理運営費（山口県）	就職氷河期世代カウンセラーの配置及び専用窓口の設置により、対象世代の方の来所・相談を促し、個々の状況に応じたきめ細かな支援を実施する。	求職活動の進め方や、希望企業へのアプローチの仕方、職務経歴書・履歴書・添え状等の作成方法・添削、面接における留意点のアドバイス等を実施することで、就職氷河期世代の県内就職を促進した。
地域若者サポートステーション機能強化事業（山口県）	地域若者サポートステーションと連携し、就職に向けて心理的な悩みを持つ無業者に対して、臨床心理士等の専門家によるきめ細かな相談支援を実施するほか、セミナー等の実施により、コミュニケーション能力等の向上を図る。	就職氷河期世代へのきめ細かな支援を行うため、年間の心理カウンセリング回数及びセミナー回数を前年度より増やし、相談者の実情に応じて個別かつ継続的な支援を実施した。
就職・採用活動オンライン化緊急支援事業（山口県） ※2020年度限りの単年度事業	WEB対面型キャリアカウンセリングシステムの導入により、不安定就労の方一人一人の状況に応じたキャリアカウンセリングを実施するほか、就職支援サイトの機能強化により、正規雇用化と県内就職を促進する。	WEB対面型キャリアカウンセリングシステムを整備し、令和2年8月1日から同システムを使用したカウンセリングを開始した。また、就職支援サイト(山口しごとセンターホームページ)を改修し、令和3年3月31日に公開した。
就職氷河期世代等支援事業（下関市）	就職氷河期世代の積極的な活用を促す企業向けセミナーの実施により企業参加を募り、市内中小企業の参加による合同就職説明会を実施する。	以下のセミナー及び合同就職説明会を開催した。 ・NEWノーマル時代を生き抜く人事戦略セミナー～就職氷河期世代等の人材活用術～（企業向け、10月27日） ・就勝支援セミナー～自分を知って就活に勝つ！～（求職者向け、11月7日、13日、20日、21日） ・しものせき就勝フェス2020（11月27日、28日）等
就職氷河期世代キャリアアップ支援事業（宇部市）	正規雇用化に向け必要となる知識や技能の習得などの能力開発及び正社員採用に積極的な企業や未経験者の採用を行う企業、就職世代の採用に前向きな企業等との座談会・ガイダンスを実施する。	正規雇用を希望する就職氷河期世代の求職者等を対象に「UBEキャリアアッププログラム」を実施した。（スキルアップ研修、企業見学会、就職活動支援等）

## 地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業

2021年度事業		
事業名（実施主体）	事業計画	実施結果
山口しごとセンター管理運営費 （山口県）	就職氷河期世代カウンセラーの配置及び専用窓口の設置により、対象世代の方の来所・相談を促し、個々の状況に応じたきめ細かな支援を実施する。	求職活動の進め方や、希望企業へのアプローチの仕方、職務経歴書・履歴書・添え状等の作成方法・添削、面接における留意点のアドバイス等を実施することで、就職氷河期世代の県内就職を促進した。
地域若者サポートステーション機能強化事業（山口県）	地域若者サポートステーションと連携し、就職に向けて心理的な悩みを持つ無業者に対して、臨床心理士等の専門家によるきめ細かな相談支援を実施し、コミュニケーション能力等の向上を図る。	就職氷河期世代へのきめ細かな支援を行うため、前年度と同様に、年間の心理カウンセリング回数及びセミナー回数を例年より増やし、相談者の実情に応じて個別かつ継続的な支援を実施した。
雇用のセーフティネット強化事業 （就職氷河期世代活躍支援） （山口県） ※2021年度からの新規事業	長期にわたり無業の状態にある方等を対象にオンライン形式のセミナーを開催することで、職業意識やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、利用者一人一人のニーズに応じた個別相談を実施する。 また、企業採用担当者向けセミナーの開催により、雇用の受入れ先開拓を図る。	以下のオンラインセミナーを開催した。 ・不安を解消して一歩前へ踏み出すオンライン就労支援セミナー（求職者向け、9月17日、29日、10月8日、18日、11月2日） ・氷河期世代の人材活用オンライン企業セミナー「持続可能な企業を支える就職氷河期世代」（企業向け、11月4日） また、セミナー受講者を対象とした個別相談を実施し、就労に向けた支援を行った。
就職氷河期世代等支援事業 （下関市）	就職氷河期世代の積極的な活用を促す企業向けセミナーの実施により企業参加を募り、市内中小企業の参加による合同就職説明会を実施する。 また、求職者個々の状況を踏まえて、就業への全般的なスキルアップを図るプログラムを実施する。	以下のセミナー及び合同就職説明会を開催した。 ・就職氷河期世代の雇用セミナー（企業向け、9月13日、10月22日） ・ビジネススキルアップセミナー（求職者向け、9月、10月、12月） ・しものせき再チャレンジ応援就職説明会（求職者向け、12月15日）等
就職氷河期世代キャリアアップ支援事業（宇部市）	正規雇用化に向け必要となる知識や技能の習得などの能力開発及び正社員採用に積極的な企業や未経験者の採用を行う企業、就職世代の採用に前向きな企業等との座談会・ガイダンスを実施する。	正規雇用を希望する就職氷河期世代の求職者等を対象に「キャリアアップ就職プログラム」を実施した。 （就職対策講座、スキルアップ講座、求職者向けセミナー等）

## 地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業

2022年度事業		
事業名（実施主体）	事業計画	実施結果
山口しごとセンター管理運営費 （山口県）	就職氷河期世代カウンセラーの配置及び専用窓口の設置により、対象世代の方の来所・相談を促し、個々の状況に応じたきめ細かな支援を実施する。	求職活動の進め方や、希望企業へのアプローチの仕方、職務経歴書・履歴書・添え状等の作成方法・添削、面接における留意点のアドバイス等を実施することで、就職氷河期世代の県内就職を促進した。
地域若者サポートステーション機能強化事業（山口県）	地域若者サポートステーションと連携し、就職に向けて心理的な悩みを持つ無業者に対して、臨床心理士等の専門家によるきめ細かな相談支援を実施し、コミュニケーション能力等の向上を図る。	就職氷河期世代へのきめ細かな支援を行うため、前年度と同様に、年間の心理カウンセリング回数及びセミナー回数を例年より増やし、相談者の実情に応じて個別のかつ継続的な支援を実施した。
雇用のセーフティネット強化事業（就職氷河期世代活躍支援） （山口県）	長期にわたり無業の状態にある方等を対象にオンライン形式のセミナーを開催することで、職業意識やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、利用者一人一人のニーズに応じた個別相談を実施する。 また、企業採用担当者向けセミナーの開催により、雇用の受入れ先開拓を図る。 上記に加えて、ひきこもりの理解促進に向けたセミナーをオンデマンド形式で実施し、ひきこもりの現状やひきこもり支援相談窓口、就労支援機関を広く周知することで、ひきこもり状態にある者等の段階に応じた支援窓口へ誘導する。	以下のオンラインセミナーを開催した。 ・不安を解消して一歩前へ踏み出すオンライン就労支援セミナー（求職者向け、9月6日、14日、21日、10月17日、25日、11月8日） ・氷河期世代の人材活用オンライン企業セミナー（企業向け、10月21日、11月11日） また、セミナー受講者を対象とした個別相談を実施し、就労に向けた支援を行った。 ・ひきこもりの理解促進に向けたセミナーを3月22日開催した。
就職氷河期世代等支援事業 （下関市）	就職氷河期世代の積極的な活用を促す企業向けセミナーの実施により企業参加を募り、市内中小企業の参加による合同就職説明会を実施する。 また、求職者個々の状況を踏まえて、就業への全般的なスキルアップを図るプログラムを実施する。	以下のセミナー及び企業説明会を開催した。 ・企業向けセミナー（氷河期世代の雇用セミナー 9月28日） （人材確保・採用力アップ雇用セミナー 2月2日） ・ビジネススキルアップセミナー（求職者向け＜PCスキルアップ＞ 8月、9月、10月、12月） ※セミナー参加者の事後フォロー及び企業説明会の案内 ・しものせきミニ企業説明会（求職者向け 3～5社程度 2月15・22・24日）
就職氷河期世代キャリアアップ支援事業（宇部市）	正規雇用化に向け必要となる知識や技能の習得などの能力開発及び正社員採用に積極的な企業や未経験者の採用を行う企業、就職世代の採用に前向きな企業等との座談会・ガイダンスを実施する。	正規雇用を希望する就職氷河期世代の非正規雇用、無業者の方等を対象に「キャリアアッププログラム」を実施した。 （就職対策講座、スキルアップ講座、求職者向けセミナー、企業見学会、企業ガイダンス、事業者向けセミナー、キャリアカウンセリング、個別の就職活動支援を実施）



## 地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業

2023年度事業		
事業名（実施主体）	事業計画	実施結果
山口しごとセンター管理運営費 （山口県）	就職氷河期世代カウンセラーの配置及び専用窓口の設置により、対象世代の方の来所・相談を促し、個々の状況に応じたきめ細かな支援を実施する。	求職活動の進め方や、希望企業へのアプローチの仕方、職務経歴書・履歴書・添え状等の作成方法・添削、面接における留意点のアドバイス等を実施することで、就職氷河期世代の県内就職を促進した。
地域若者サポートステーション機能強化事業（山口県）	地域若者サポートステーションと連携し、就職に向けて心理的な悩みを持つ無業者に対して、臨床心理士等の専門家によるきめ細かな相談支援を実施し、コミュニケーション能力等の向上を図る。	就職氷河期世代へのきめ細かな支援を行うため、前年度と同様に、年間の心理カウンセリング回数を例年より増やし、相談者の実情に応じて個別かつ継続的な支援を実施した。
雇用のセーフティネット強化事業（就職氷河期世代活躍支援） （山口県）	長期にわたり無業の状態にある方等を対象にオンライン形式のセミナーを開催することで、職業意識やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、利用者一人一人のニーズに応じた個別相談を実施する。 また、企業採用担当者向けセミナーの開催により、雇用の受入れ先開拓を図る。	以下のオンラインセミナーを開催した。 ・不安を解消して一歩前へ踏み出すオンライン就労支援セミナー（求職者向け、9月8日、14日、22日、10月11日、18日、31日） ・氷河期世代の人材活用オンライン企業セミナー「採用難時代のリテンション戦略」（企業向け、10月20日） 「アマゾンのすごい人材マネジメント」（企業向け、11月10日） また、セミナー受講者を対象とした個別相談を実施し、就労に向けた支援を行った。
女性デジタル人材育成事業 （山口県） ※2023年度からの新規事業	未就業等の女性に対し、プログラミング等の専門スキルを習得する講座やインターンシップ等を実施し、県内企業と連携して女性の就業や待遇改善を支援する。	・プログラミング講座を実施し、併せて就労に向けた取組みを実施した。 受講者数：57名 修了者数：33名 就職者数：24名
県外キャリア人材確保応援事業 （山口県） ※2023年度からの新規事業	県外からの転職者の採用を希望する企業に対し、氷河期世代の特性など採用・定着に係るノウハウを習得できるセミナーを実施するとともに、転職フェアへの出展支援や転職サイトへの掲載料支援により、求職者と企業の出会いを促進する。 加えて、インターンシップ参加者への交通費・宿泊費の補助により、インターンシップへの参加を促進し、転職時のミスマッチを低減する。	企業向けオンラインセミナー：25社参加 転職フェア出展：20社参加 採用内定者数5名 転職サイトへの掲載料等補助：145社申請 採用人数170人 インターンシップへの補助：申請なし



## 地域就職氷河期世代支援加速化交付金を活用した事業

2024年度事業		
事業名（実施主体）	事業計画	実施結果（予定）
山口しごとセンター管理運営費 （山口県）	就職氷河期世代カウンセラーの配置及び専用窓口の設置により、対象世代の方の来所・相談を促し、個々の状況に応じたきめ細かな支援を実施する。	求職活動の進め方や、希望企業へのアプローチの仕方、職務経歴書・履歴書・添え状等の作成方法・添削、面接における留意点のアドバイス等を実施することで、就職氷河期世代の県内就職を促進した。
地域若者サポートステーション機能強化事業（山口県）	地域若者サポートステーションと連携し、就職に向けて心理的な悩みを持つ無業者に対して、臨床心理士等の専門家によるきめ細かな相談支援を実施し、コミュニケーション能力等の向上を図る。	就職氷河期世代へのきめ細かな支援を行うため、前年度と同様に、年間の心理カウンセリング回数を例年より増やし、相談者の実情に応じて個別かつ継続的な支援を実施した。
雇用のセーフティネット強化事業（就職氷河期世代活躍支援） （山口県）	長期にわたり無業の状態にある方等を対象にオンライン形式のセミナーを開催することで、職業意識やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、利用者一人一人のニーズに応じた個別相談を実施する。 また、企業採用担当者向けセミナーの開催により、雇用の受入れ先開拓を図る。	以下のオンラインセミナーを開催した。 ・自信をつける！キャリアサポートセミナー （求職者向け、8月28日、9月13日、26日、10月9日、23日） ・求人票魅力アップセミナー（9月11日、11月12日） 「ミドル世代（就職氷河期世代）の活用ポイント」 「ハローワーク求人票の効果的な活用方法」 また、セミナー受講者を対象とした個別相談を実施し、就労に向けた支援を行った。
女性デジタル人材育成事業 （山口県）	未就業等の女性に対し、プログラミング等の専門スキルを習得する講座やインターンシップ等を実施し、県内企業と連携して女性の就業や待遇改善を支援する。	・プログラミング講座を実施中（R6.9～R7.1） 受講生：77名 ・就労に向けた取組みについては随時実施する。
県外キャリア人材確保応援事業 （山口県）	県外からの転職者の採用を希望する企業に対し、氷河期世代の特性など採用・定着に係るノウハウを習得できるセミナーを実施するとともに、転職フェアへの出展支援や転職サイトへの掲載料支援により、求職者と企業の出会いを促進する。 加えて、インターンシップ参加者への交通費・宿泊費の補助により、インターンシップへの参加を促進し、転職時のミスマッチを低減する。	企業向けオンラインセミナー：21社参加（予定含む） 転職フェア出展：10社参加 採用内定者数集計中 転職サイトへの掲載料等補助：176社申請 採用人数89人 インターンシップへの補助：申請なし

※令和6年12月末現在

令和7年度山口県における「社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金（仮称）」を活用した事業」の計画について

【ポイント】

○2025年度事業計画（予定）

以下の取組を実施する予定。

**山口しごとセンター管理運営費**

就職氷河期世代を含むあらゆる世代の就労希望者、処遇改善希望者等を対象に、キャリアカウンセラーによる個々の状況に応じたきめ細かで多面的な支援を実施

**地域若者サポートステーション機能強化事業**

地域若者サポートステーションと連携し、就職に向けて心理的な悩みを持つ無業者に対して、臨床心理士等の専門家によるきめ細かな相談支援を実施

**女性デジタル人材育成事業**

○プログラマー養成講座の開催

○山口しごとセンター、コンソーシアム企業等と連携し、インターンシップ等の就業支援を実施

**県外キャリア人材確保応援事業**

○企業向けオンラインセミナーの実施（計2回）

○転職フェアへの出展（計2会場 参加企業6社程度）

○転職フェア出展料・転職サイト掲載料の補助

○インターンシップ参加者への交通費・宿泊費の一部補助

○ダイレクトリクルーティング利用料の補助

転職フェア出展料・転職サイト掲載料に加え、ダイレクトリクルーティング※を利用した県内企業への補助を行う。

出展料・掲載料と同様に補助率1/2、補助上限額30万

※ダイレクトリクルーティング：個人に対して求人企業がスカウトメールを送信する等して直接オファーを行うサービス

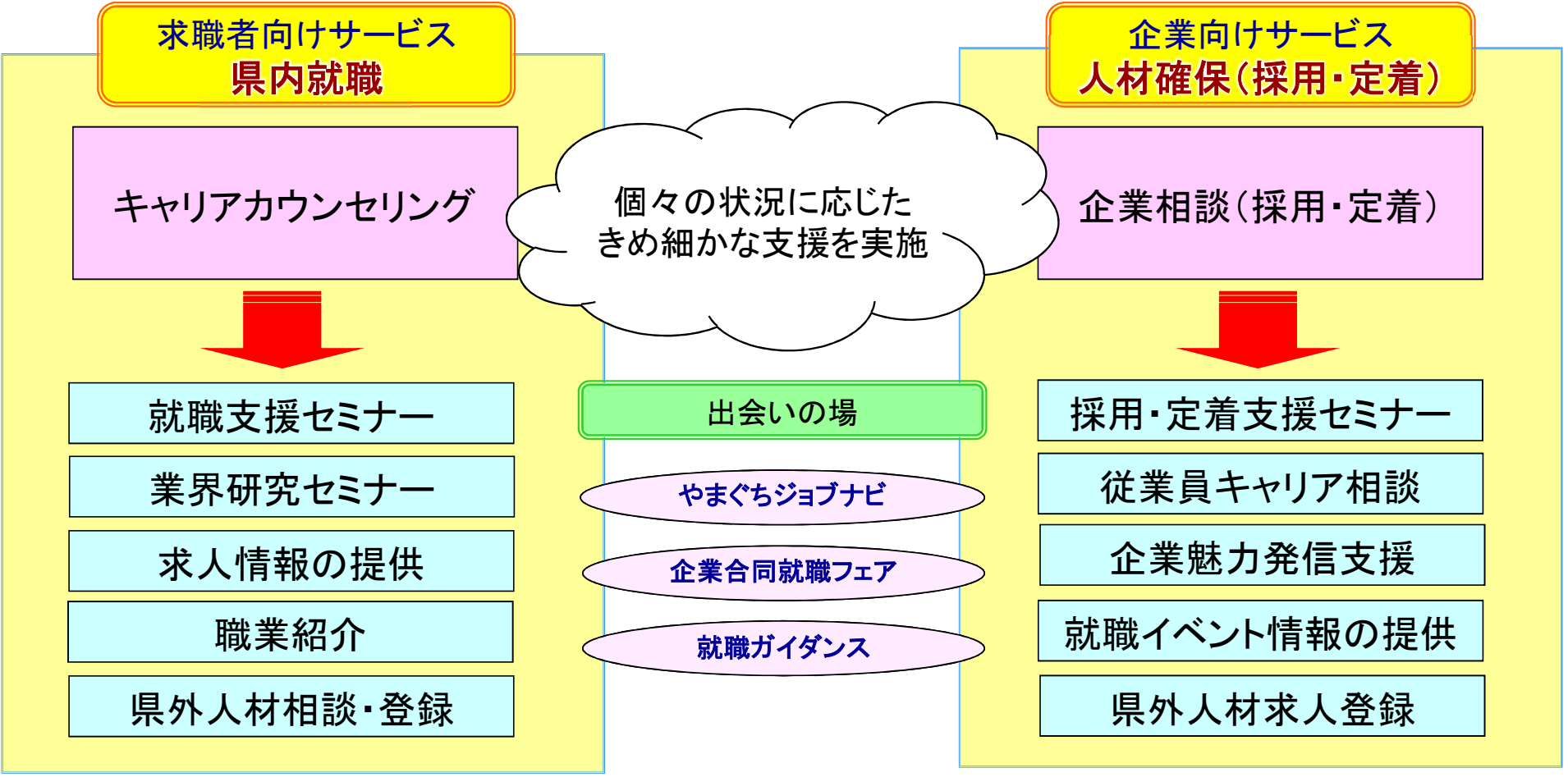


## 令和7年度社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金(仮称)を活用した事業(予定)

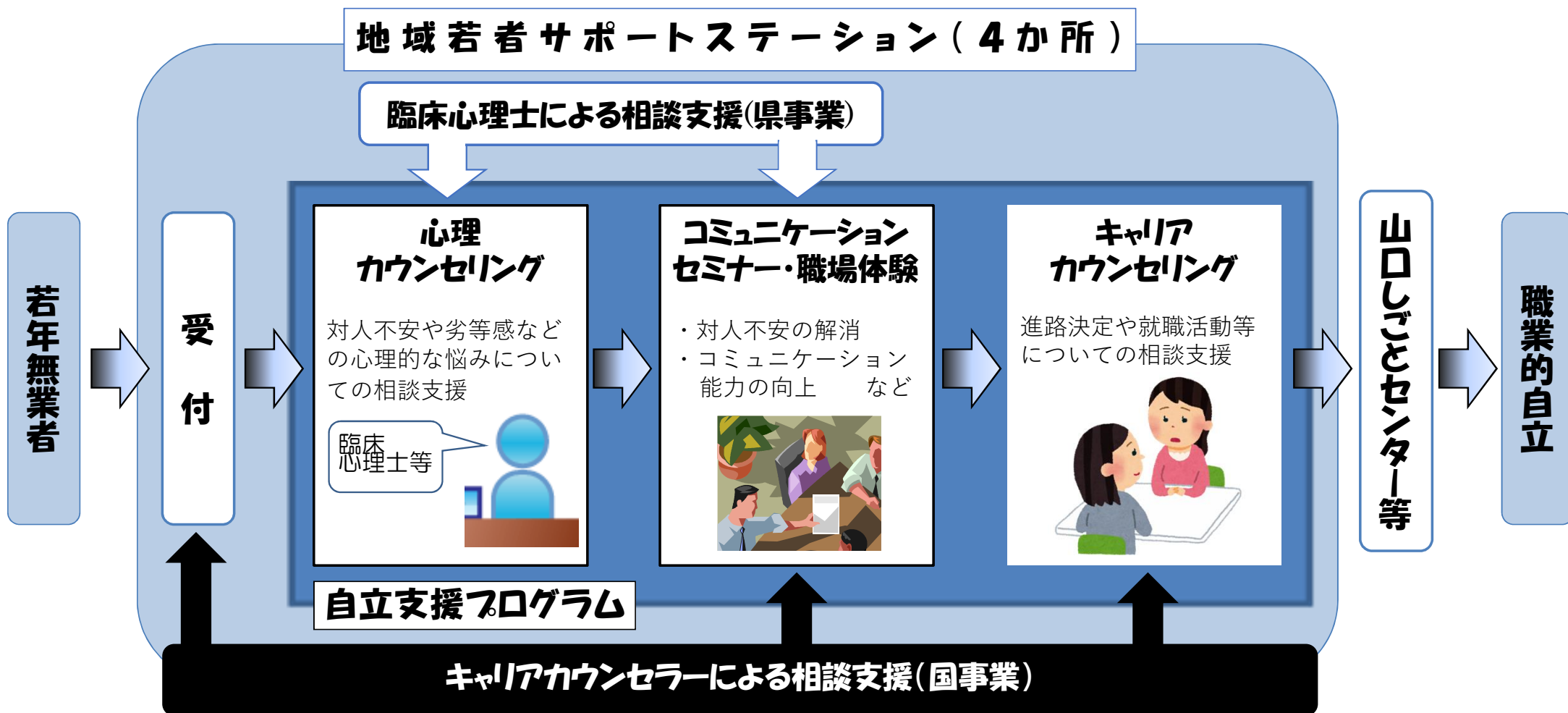
2025年度事業		
事業名 (実施主体)	事業計画	実施結果
山口しごとセンター管理運営費 (山口県)	就職氷河期世代を含むあらゆる世代の就労希望者、処遇改善希望者等を対象に、自己分析や適職診断、面接対策等の支援に加え、就職に向けたモチベーションアップや県内の業界の案内など、個々の状況に応じよりきめ細かで多面的な支援を実施する。	
地域若者サポートステーション機能強化事業 (山口県)	地域若者サポートステーションと連携し、就職に向けて心理的な悩みを持つ無業者に対して、臨床心理士等の専門家によるきめ細かな相談支援を実施し、コミュニケーション能力等の向上を図る。	
女性デジタル人材育成事業 (山口県)	就職氷河期世代を含む幅広い世代の女性の未就業者や非正規雇用者等の不安定就労者に対し、プログラミング等の専門スキルを習得する講座やインターンシップ等を実施し、県内企業と連携して女性の就業や待遇改善を支援する。	
県外キャリア人材確保応援事業 (山口県)	県外からの転職者の採用を希望する企業に対し、氷河期世代を含む幅広い世代の特性など採用・定着に係るノウハウを習得できるセミナーを実施するとともに、転職フェアへの出展支援や転職サイトへの掲載料支援により、求職者と企業の出会いを促進する。 加えて、インターンシップ参加者への交通費・宿泊費の補助により、インターンシップへの参加を促進し、転職時のミスマッチを低減する。	



# 1 山口しごとセンター管理運営費

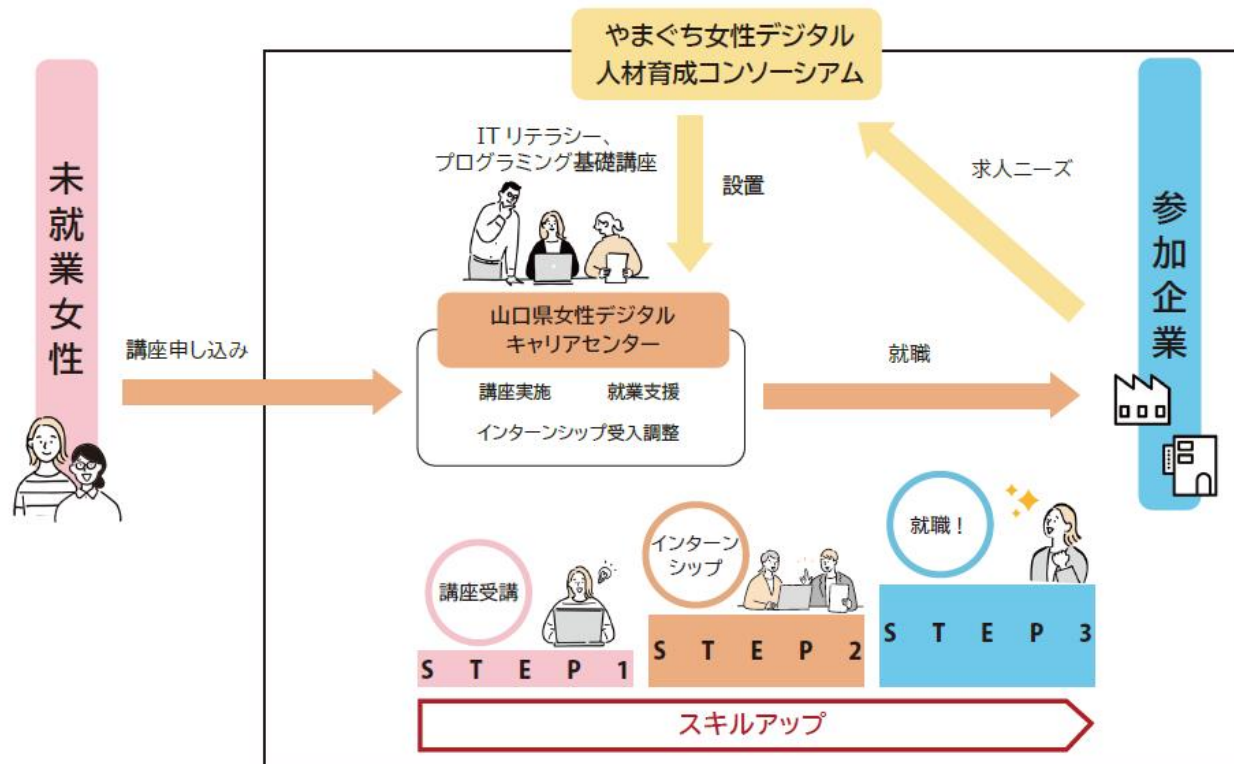


## 2 地域若者サポートステーション機能強化事業



### 3 やまぐち女性デジタル人材育成事業

就職氷河期世代を含む幅広い世代の女性の未就業者や非正規雇用者等の不安定就労者を対象に、プログラマー養成講座等を実施し、デジタル人材の育成を図るとともに、県内企業・団体と連携して女性の就業や待遇改善を支援





## 4 県外キャリア人材確保応援事業について

U・I・Jターン採用を山口県が強力にバックアップ！

### 県外キャリア人材確保応援事業のご案内

対象：山口県内に事業所を有する事業社様  
費用は全て無料となり、山口県が負担をします

コロナ禍以降、業種問わず求人倍率は堅調な伸びを見せております。特に各エリアでの求人数が増加をしており、全国TOPは福井県(1.91倍)、中国4県も山口県(1.66倍)、広島県(1.30倍)、鳥取県(1.46倍)、島根県(1.57倍)と全国平均1.25倍と比較しても高水準なエリアとなっております。今回、こうした背景により、県外からのキャリア人材確保に向けた支援を実施する事となりました。各社様の参加を御待ちしております。

#### ①“求職者の採用・定着のためのオンラインセミナー”を開催

【セミナー内容】 ※締切：各開催の1日前迄  
キャリア人材の「採用」「定着」に関するオンラインセミナーとなります。

- ①転職者を採用する際の留意点
- ②就職氷河期世代の特性・雇用に向けた助言
- ③セカンドキャリア向けインターンシップ導入のメリット など

講師 HRディレクション・パートナーズ 代表取締役 平尾 英治



#### オンラインセミナー 開催日時

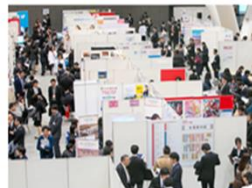
- 第1回目 令和6年8月27日(火) 13:00～17:00
- 第2回目 令和6年9月26日(木) 13:00～17:00
- 第3回目 令和7年1月28日(火) 13:00～17:00

※実施方法: ZOOMの利用を想定しています

#### ②国内最大級の **マイナビ 転職フェア** への出展が可能！

右記、何れかのエリア・日程が選択可能です。(締切:○月○日○時)  
出展費用は山口県が負担します。

- ※マイナビ転職フェアへ出展希望の企業御担当者様は、上記、①への参加が必須となります。
- ※会場への交通費などは出展企業様負担となります。
- ※出展確定後のキャンセルは不可となります。
- ※希望企業が多数の場合、抽選となります。
- ※マイナビ転職への求人掲載・スカウトメールも付属します。



#### マイナビ転職フェア 開催エリア・日程

- 【東京】マイナビ転職フェア 令和6年 9月14日(土) 場所：東京国際フォーラム
- 【福岡】マイナビ転職フェア 令和6年10月27日(日) 場所：福岡国際展示場
- 【広島】マイナビ転職フェア 令和7年 2月 8日(土) 場所：広島コンベンションホール



【本事業主催】  
山口県 産業労働部産業人材課

【本事業受託・企画運営会社】  
株マイナビ 転職情報事業本部  
t-yamaguchi.uijcareer@mynavi.jp

▼参加ご希望の企業様は、下記また山口県HPより御申込をお願いします



送信頂きました内容は、山口県へ送付されます。  
情報開示については、山口県産業労働部産業人材課までお問い合わせください。

## 5 県外キャリア人材確保応援事業について



事業名	概要	補助上限額
(1) 県外転職フェア出展料等支援事業	県外からの人材を確保するために、事業者が負担した転職フェアの <b>出展料</b> 、就職情報サイトへの <b>掲載料</b> 及びダイレクトリクルーティングサービスの <b>利用料</b> の一部を補助するもの	<b>30万円</b>
(2) セカンドキャリア向けインターンシップ 交通費・宿泊費支援事業	(1)の事業者が実施するセカンドキャリア向けインターンシップに参加するために県外在住の離転職者が負担した <b>交通費実費</b> 及び <b>宿泊費実費</b> を一部補助するもの	交通費実費 <b>3万円</b> 宿泊費実費 <b>1万5千円</b>

# 就職氷河期世代の就業等の動向と 支援の今後の方向性について

2024年12月

内閣官房 就職氷河期世代支援推進室

# 1. 実績

## KPIの進捗状況

2019年平均 (36~45歳) 計1705万人

2019年平均 (36~45歳)	2023年平均 (40~49歳)	変化
計1705万人	計1699万人	+8
正規 923	正規 931	+8
役員 52	役員 65	+13
非正規 (不本意非正規を除く) 332	非正規 (不本意非正規を除く) 342	+10
不本意非正規 101	不本意非正規 105	+4
失業 46	失業 37	-9
非労働力人口 210	非労働力人口 180	-30
その他 41	その他 43	+2
うち無業者 11	うち無業者 9	-2

(出典) 総務省「労働力調査」より作成。就職氷河期世代の中心層における就業状態。年齢は2023年時点。 不本意非正規 失業 (うち無業者)

### ➤ 正規雇用8万人増、加えて役員13万人増で、合計21万人増

(参考) 30~39歳：正規 0万人増、役員 11万人増で、合計11万人増  
50~59歳：同 29万人減、同 11万人増で、同 18万人減

### ➤ 不本意非正規は9万人減、非労働力人口は30万人減で、合計39万人減

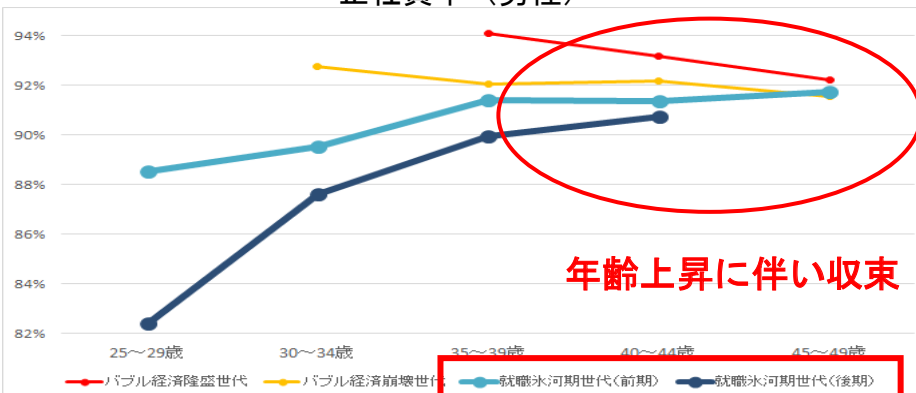
(参考) 30~39歳：不本意非正規16万人減、非労働力人口9万人減で、合計25万人減  
50~59歳：同 3万人減、同24万人増で、同21万人増

## 就業動向をめぐる世代間比較

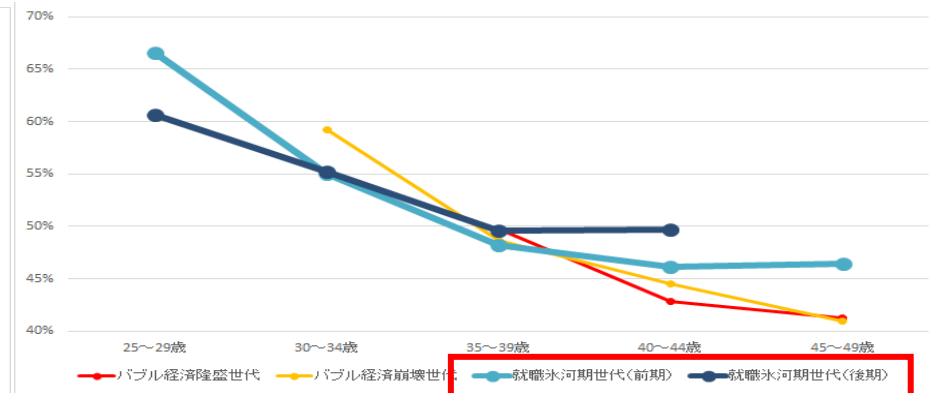
- 就職氷河期世代の正社員率(男性)は、年齢上昇に伴って改善し、40歳代でバブル世代と同水準に到達。正社員率(女性)は、世代間で傾向の違いがみられない。

正社員率 (男性)

(参考) 正社員率 (女性)



年齢上昇に伴い収束



(出典) 「第5回 就職氷河期世代支援の推進に向けた全国プラットフォーム」 玄田委員資料より作成。

「バブル隆盛世代」は1963~67年生、「バブル経済崩壊世代」は1968~72年生、「就職氷河期世代(前期)」は1973~77年生、「就職氷河期世代(後期)」は1978~82年生。

## 2. 就職氷河期世代支援の各施策の実績

施策・事業	実績（令和6年12月時点までに判明しているもの）
ハローワークの職業紹介	正社員就職 522,749人（令和2年4月～令和6年10月）
特定求職者雇用開発助成金 （就職氷河期世代安定雇用実現コース）	雇用登録者数 35,376名 （令和2年4月～令和6年10月）
トライアル雇用助成金	就職氷河期世代の試行雇用修了者数 4,539人 うち常用雇用移行者数 3,187人 （令和2年4月～令和6年10月）
キャリアアップ助成金（正社員化コース）	正規雇用等への転換 136,791人（令和2年4月～令和6年10月）
身近な基礎自治体におけるひきこもり支援の充実	ひきこもり支援推進事業の実施自治体数（市町村） 81自治体（令和2年度当初） ⇒265自治体（指定都市含む）（令和5年度末）
地域就職氷河期世代支援加速化交付金	就業者数 32,378人（うち正規雇用15,647人）（令和2～5年度） 社会参加者数 18,475人（令和2～5年度）
就職氷河期世代の国家公務員中途採用	国家公務員中途採用者選考試験（就職氷河期世代） 採用者数 679人（令和2～5年度） 既存の経験者採用等 採用者数 3,907人（令和2～5年度）

（備考）上記の実績は主に就職氷河期世代に限った数値であるが、施策毎に年齢区分が異なる。  
また、各施策の対象者は一部重複している可能性がある。

### 3. 今後の方向性

#### ○ 「経済財政運営と改革の基本方針2024」(令和6年6月21日閣議決定)(抄)

就職氷河期世代の就労支援は、5年間の集中的取組により、一定の成果を挙げている。来年度以降、就職氷河期世代への支援は、中高年層に向けた施策を通じて、相談、リ・スキリングから就職、定着までを切れ目なく効果的に支援するとともに、地方自治体と連携し、個々人の状況に合わせ、就労に向けたリ・スキリングを含む幅広い社会参加支援を行う。

#### ○ 「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」(令和6年11月22日閣議決定)(抄)

これまでのリ・スキリング等の支援の成果を踏まえ、就職氷河期世代を含む中高年層について、地方公共団体と連携し、社会参加やリ・スキリングを含めた就労・活躍に向けた支援を行う。その際、就職氷河期世代については、共通の課題を抱える幅広い世代と併せて支援することによって、支援対象者にとっての選択肢を拡大し、政策効果を一層高める。



- **来年度以降、就職氷河期世代を含む中高年層について、社会参加やリ・スキリングを含めた就労・活躍に向けた支援を継続・充実する。**  
(ハローワーク専門窓口での伴走型支援、雇い入れ等に関する事業主への助成金等)
- 「地域就職氷河期世代支援加速化交付金」については、新設する「社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金」に統合し、その支援メニューを引き継ぎ、一部を拡充する。  
(リ・スキリング事業及び自治体連携事業の補助率引き上げ:3/4→4/5)
- これらにより、共通の課題を抱える幅広い世代への支援の中で、**対象者にとっての選択肢を拡大し、政策効果を一層高める。**  
(リ・スキリングの一環としての研修・講座等のメニューの充実、マッチング参加企業の拡大等)
- 施策の取りまとめは、内閣府就職氷河期世代等支援推進室(新設・仮称)で実施(予定)。交付金事務については、内閣府孤独・孤立対策推進室で実施。  
➡ 内閣府として一体的に事務を遂行。

# 參考資料



正社員を目指す、就職氷河期世代（35～56歳）の方 対象

## ファイナンシャルプランナー(FP)による相談会

ハローワークで**ファイナンシャルプランナー(FP)**と「**お金**」の相談が無料でできます！

<b>日程</b>	R6. 10. 30(水) 11. 27(水) 12. 24(火) R7. 1. 29(水) 2. 26(水) 3. 26(水)
<b>時間</b>	13:30～、15:00～ 各回80分
<b>場所</b>	ハローワーク宇部 2階会議室
<b>対象者</b>	正社員を目指す35～56歳で、 ハローワークに求職登録されている方

### ★ご相談いただける内容★

- ・ 現在の家計管理について
- ・ 将来への備えについて
- ・ 失業中のお金のやりくりについて
- ・ 税金・年金・保険について
- ・ その他就職促進に関する各種生活相談  
(事前にお伺いします)

スムーズな相談のために可能な限り下記について事前にご確認ください。  
・ 収入(給与、年金、手当等)  
・ 支出(家賃、ローン、光熱水費、通信費等)

**先着順・予約制**      **1回限り**      **相談料無料**

【個人情報の取り扱いについて】  
FP相談時にいただいた個人情報は、本相談以外に使用することはありません。

お申し込み・お問い合わせ先  
ハローワーク宇部 キャリアアップ応援コーナー  
宇部市北琴芝2-4-30 電話：0836-31-0164 (部門コード 41#)  
※お申し込み後、キャンセルされる場合は必ずご連絡ください。



# 就職氷河期世代の就業等の 実態や意識に関する調査(概要)

2024年12月  
内閣府

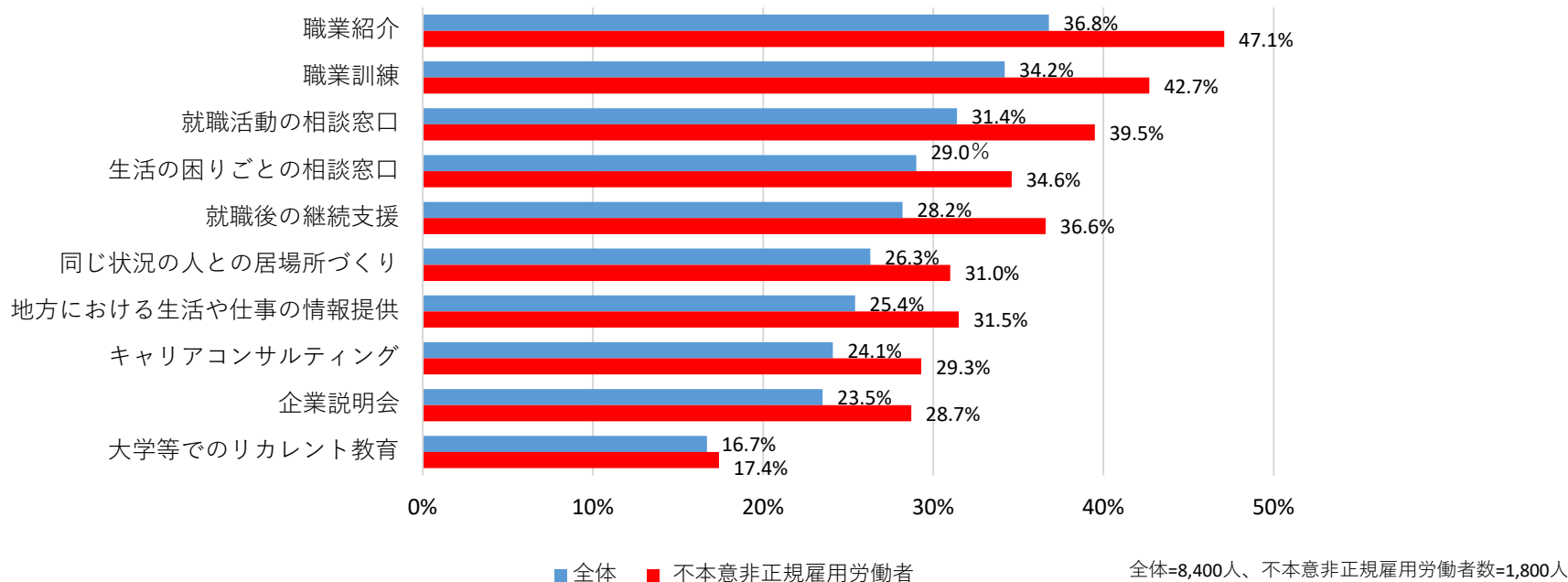
# 就職氷河期世代の就業等の実態や意識に関する調査（概要）

## 調査の概要

- 調査対象：25歳～54歳までの男女8,400名
- 調査方法：インターネット調査（2024年3月とりまとめ）

## 主な調査結果

### ○行政支援施策に対するニーズ



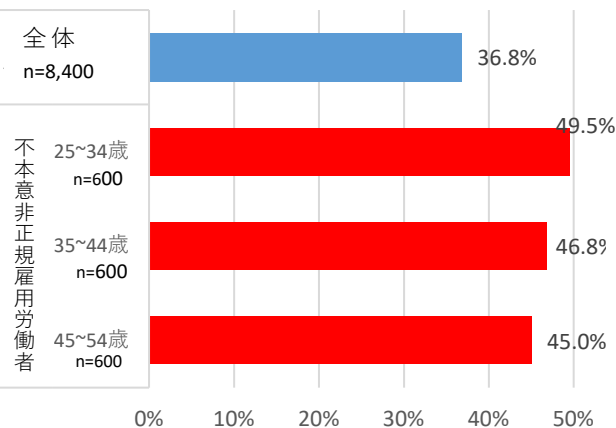
- ・「職業紹介」「職業訓練」「就職活動の相談窓口」「生活の困りごとの相談窓口」「就職後の継続支援」のニーズが高い。
- ・行政支援施策に対するニーズは、全体と比較し、不本意非正規雇用労働者の方が全般に高い。

# 就職氷河期世代の就業等の実態や意識に関する調査（概要）

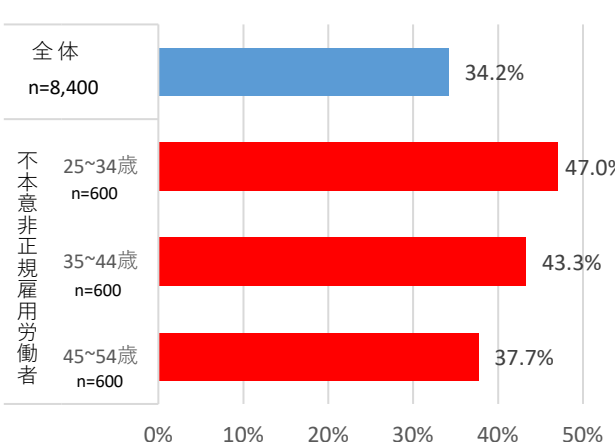
## 主な調査結果

### ○年代別の行政支援施策へのニーズ

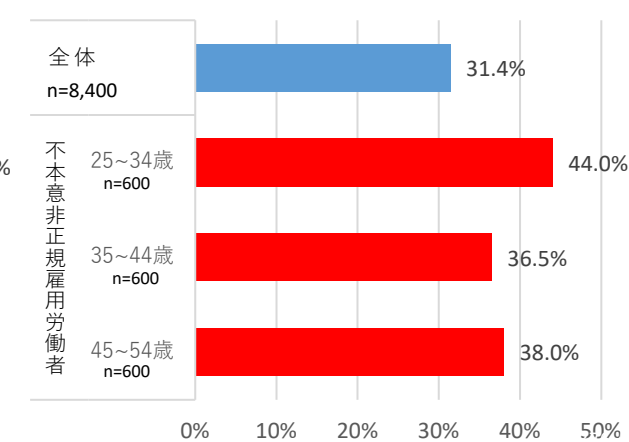
職業紹介



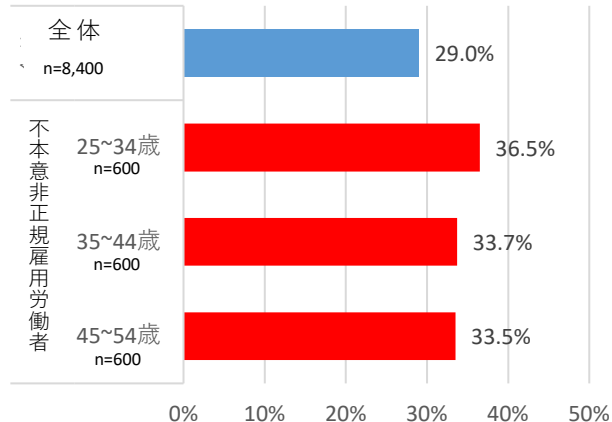
職業訓練



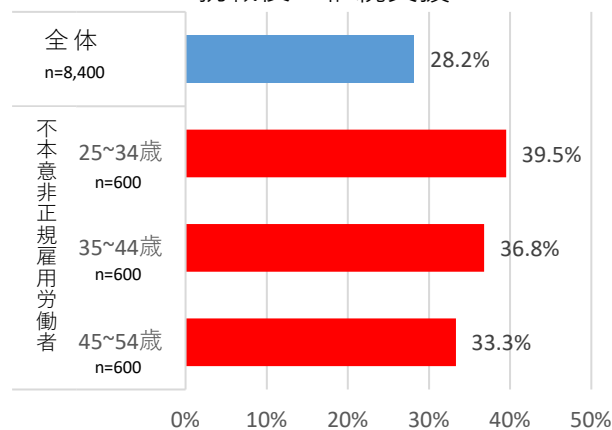
就職活動の相談窓口



生活の困りごとの相談窓口



就職後の継続支援

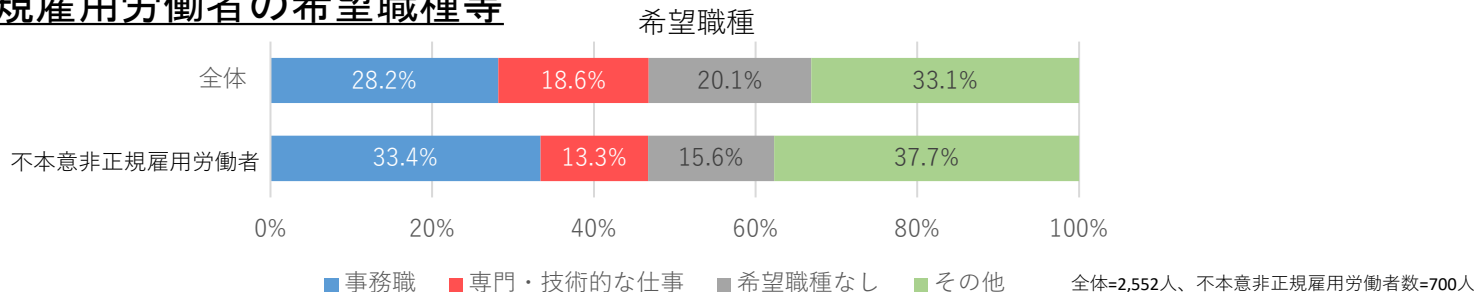


- 年代別では、職業紹介、職業訓練、就職活動の相談窓口、生活の困りごとの相談窓口、就職後の継続支援のいずれも、若年層（25～34歳）のニーズが高い傾向にある。

# 就職氷河期世代の就業等の実態や意識に関する調査（概要）

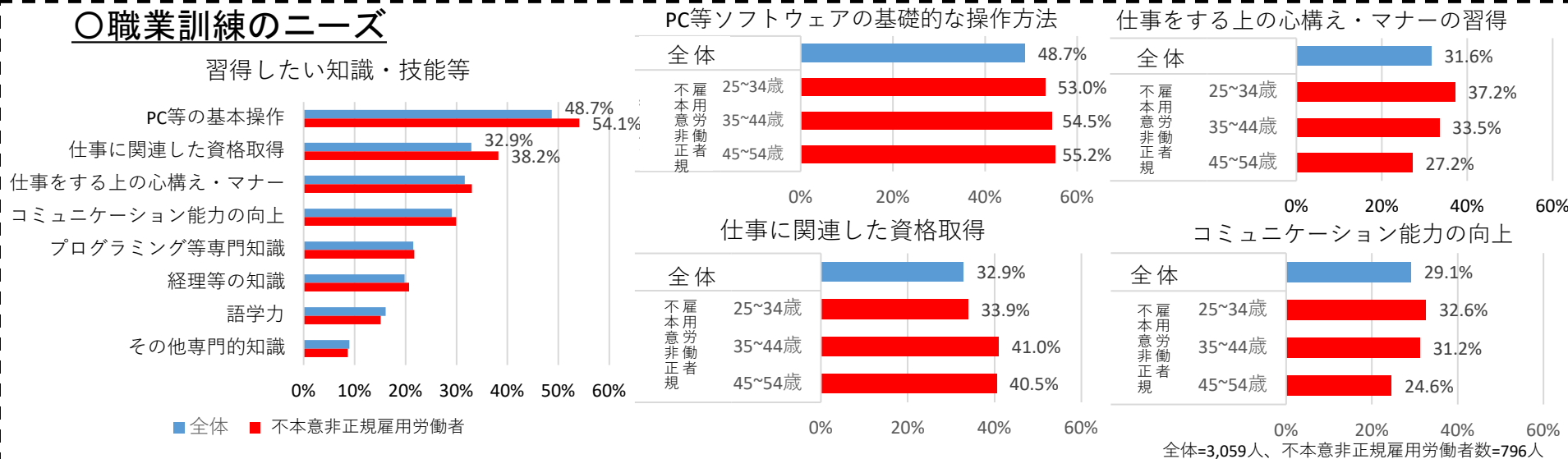
## 主な調査結果

### ○不本意非正規雇用労働者の希望職種等



- ・就職・転職に際して希望する職種について、不本意非正規雇用労働者は、事務職を希望する割合がやや高く、専門・技術的な仕事を希望する割合がやや低い。

### ○職業訓練のニーズ



- ・不本意非正規雇用労働者の職業訓練のニーズは、PC等の基本操作はどの年代でもニーズが高く、35~45歳、45~54歳は仕事に関連した資格取得へのニーズが高い。若年層（25~34歳）では、仕事をする上での心構え・マナー、コミュニケーション能力向上のニーズが高い。